

平成27年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	平成27年12月2日(水)	福岡第2合同庁舎5階 第1会議室
委員	牧角 龍憲 (大学教授) 清水 秀幸 (公認会計士)	諏佐 マリ (大学准教授) 増永 弘 (弁護士)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成27年7月1日 ~ 平成27年9月30日	
審議対象件数	83件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	9件	(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 抽出事案について
建	一般競争 0件	
設	一般競争 (政府調達協定対象外) 7件	
工	指名競争 0件	
事	随意契約 0件	
建設コンサルタント業務等	2件	
	意見・質問	回答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	【建設工事等発注実績について】 特になし 【指名停止の措置状況について】 特になし	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【抽出事案について】</p> <p>1 〔竹松(27)訓練場新設土木その他工事〕(一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・入札参加者が15者と多いにもかかわらず、落札率が90%と高い理由は何か。</p> <p>2 〔新田原飛行場周辺地区(27)除草管理工事(1工区)〕 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>3 〔新田原飛行場周辺地区(27)除草管理工事(2工区)〕 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>4 〔新田原飛行場周辺地区(27)除草管理工事(3工区)〕 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>5 〔新田原飛行場周辺地区(27)植栽地撫育管理工事(1工区)〕 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>6 〔新田原飛行場周辺地区(27)植栽地撫育管理工事(2工区)〕 (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・除草工事(1～3工区すべて)の落札率が40%台と低調な理由は何か。</p>	<p>・本事案は総合評価落札方式のうち、施工体制確認型総合評価落札方式(施工能力評価型)の試行対象工事で、評価値の最も高い者を落札者に決定する方式を採用している。なお、調査基準価格は予定価格の87.6%であるため、一概に落札率が高いとは言えない。</p> <p>・本省の基準に基づき積算した予定価格と応札者の入札金額を比較した結果、諸経費(現場管理費、一般管理費)の乖離が大きく落札率が低調になったものと考えている。類推ではあるが、利益を圧縮してでも国の工事を受注したいという業者の意欲の現れではないかと考える。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>7 [高遊原(27)洗機場新設建築その他工事] (一般競争(政府調達協定対象外))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約金額が高いにもかかわらず入札参加者が2者と少ない理由は何か。 ・それは、業者に対して負担を強いることになるのではないか。 <p>8 [奄美(27)新駐屯地環境調査(その1)] (簡易公募型プロポーザル方式)</p> <p>9 [奄美(27)新駐屯地環境調査(その2)] (簡易公募型プロポーザル方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果的に同一業者と契約しているが、分割発注の理由は何か。 ・プロポーザル方式の場合、最高得点者の技術提案等の評価点が低い場合には不特定となるのか。得点による基準を設けているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事案は、導入される洗機設備の形状等が未確定の特殊なケースであり、所要の設計期間が確保できないため、標準図及び類似図面により工事を発注し、発注後、受注者が施工に必要な詳細図及び数量調書の作成に必要な最小限の測量、土質調査等を行い、発注者の承認を得た後に工事着手する「標準図等活用発注方式」を採用したものの。このため、業者としては詳細図等の作成を委託する手間等を考えて敬遠されたものと推測される。 ・調査費及び設計費込みの契約となる。なお、類似図面等は他局の類似事案を使用しており、ある程度の精度は確保されている。 ・同じ奄美島内ではあるが、調査対象地が約50km離れており、環境条件(開発の有無)が異なることから分割発注したもの。なお、両事案ともほぼ同じ業者が入札参加し、企業の実績、技術提案等の評価点が同じため、同一業者を特定する結果となった。 ・得点による制限の基準は設けていない。

		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		・価格競争ではなく、技術力を求める業者を特定する場合にボーダーラインが無いというのは根拠として弱いのではないか。検討されたい。 ・1年を通じた生態調査で、残りの半年分は別発注となるのか。その際、違う業者との契約となった場合でも整合性は保たれるのか。	・検討して参りたい。 ・通常、通年分の予算で実施するが、単年度予算しか確保できなかったため、この様な発注方式となった。今回の業者の調査結果を踏まえることを条件として発注することで、整合性は保たれるものと考えてる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) 該当案件なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回答
		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審 議 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一位不動の分析 ・ 順位不動の分析 ・ 低入札・不調・不成立事案の分析 ・ 落札率・応札率の分析 	
<ul style="list-style-type: none"> ○委員からの質問・意見 ○それに対する回答等 	意 見・質 問	回 答
	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	